

# 財務班

復旧作業のため全国から駆けつけた復旧隊の宿泊施設、食料、移動手段の確保および資機材、車両燃料の調達を主な任務とした。市内の多くの宿泊施設が大きな被害を受け、ライフラインも停止する中、1日最大4,000人規模の宿泊先等の確保は困難を極め、また円滑な復旧作業を進めるため、ライフラインの確保等を含めた庁舎管理も限られた時間の中で対応した。

地震発生後は、庁舎を巡回して安全確認を行った。一部の壁や天井等には大きな被害があったものの、建物の耐震診断の結果と応急危険度判定から庁舎の安全が確認できた。また、ガラス飛散防止フィルム等の地震対策を講じていたため、人的な被害はなかった。

復旧作業に必要な資材の在庫は2カ月分しかなく、契約業者も被害が大きいためなかなか連絡がとれなかった。加えてガソリン不足で配達もままならず、職員自ら資材を引き取りに出向かなければならない時もあった。その点、応援事業者が持ち込んだ資材には大いに助けられた。復旧隊の受け入れ準備も財務班が担当した。復旧作業の前線基地として利用可能な1万平方メートル規模の土地4カ所を確保し、復旧隊の本部で使うインターネット回線、開栓作業用のレンタカーも手配した。復旧隊車両のガソリン、発電機用軽油の確保は困難を極め、職員がガソリンスタンドを訪問し、新規の取引先を開拓せざるを得なかった。

数千人規模で駆け付けた復旧隊のための宿泊施設、食料確保は何よりも大きな課題であった。被災した市内の宿泊施設は通常の営業が難しく、また、他のライフライン事業者等も全国から復旧応援のために来仙しており、受け入れ先は思うように見つからなかったが、旅行代理店からの提案を受け県外の施設等をようやく確保できた。

また、非常時の食料調達先としてガス需要家の弁当業者をあらかじめ選定していたが、供給停止中とあっては需要家以外の業者に依頼せざるを得なかった。宿泊者はピーク時には約4,000人にも上り、毎日、復旧隊の移動用バスや弁当について予約締切時刻の直前まで人数の集約、確定に追われた。

## ■クロニクル〔復旧スケジュール〕

**【3月11日】** 建物設備や構内の被災状況を確認し、応急修理等による二次災害の防止措置。非常用ガスエンジン発電機が即時起動。燃料の都市ガスは幸町ガスホルダーの残量から約7日分と推定。備蓄食料は3日分。備蓄食料のうち、水やクラッカー等の一定数を局内配布。食料・飲料水確保のため、市内の業者20社以上へ電話したが、ほぼ不通。ようやく電話が通じた業者にレトルト食品と使い捨て食器を発注(翌日納品)。先遣隊の宿泊先確保のため、市内中心部のホテル39カ所へ電話したが、ほぼ不通。郊外の旅館等は電話の不通が続き、宿泊先確保は困難。出納取扱金融機関へ臨時資金前渡用の小払現金の準備を依頼。

**【3月12日】** バックアップ電源用の発電機2機を確保。食堂での炊き出しを開始。復旧隊受け入れのため、幸町グラウンドを宮城県から借用。受け取りに向かう条件付きであれば受注可能な近隣の弁当業者が見つかり、3月18日まで発注を継続。職員用の寝具をリース業者へ発注。同日午前中に納品。水道は少し出ており、貯水タンクには早朝時点で100t程度貯まっていた。

**【3月13日】** 幸町庁舎が断水。仮設トイレ5台を確保。電話不通のため、職員2名が自転車です市内中心部の宿泊施設を直接訪問し、復旧隊の受け入れを依頼したが、建物被害やライフラインの停止により、受け入れが困難な状況。飲料業者へ緑茶を発注(3月15日納品)。布団をリース業者へ追加発注。同日夜間に納品。先遣隊27名到着(17時頃)。被害状況を説明の上、局内や当日の宿泊先等を案内。幸町庁舎の動力用のバックアップ電源として、発電機1機を確保。残ガスの供給可能日数を見極めるため、幸町庁舎の食堂、GHP、冷温水発生器等のガス使用量見込みを確認。

**【3月14日】** 0時15分頃、幸町庁舎の電気復旧。仮設気化設備の設置および復旧隊の受け入れ場所として、幸町北側職員駐車場を確保。局独自で1日最大4千人規模の宿泊施設の確保は困難と判断。旅行代理店の協力を得ながら、閉栓隊・開栓隊の宿泊先として、3月15日から4月中、県外のホテルで1日当たり500名分を確保。以降、宿泊予定人数の情報収集と増減数の把握および予約人数の変更、宿泊実績の管理等を復旧の進捗状況を勘案しながら継続的に実施。12日に発注した業者からの弁当調達を開始(1日2回・昼はおにぎり、夕方は弁当)。3月18日まで早朝と夕方、職員2、3名で弁当を受け取りに行き、局内への仕分けと配布を実施。移動用バスは燃料不足のため、県外のバス会社に依頼。復旧作業の実情に合わせ、バスの運行計画を作成・調整。ガス局技術センターの2階に復旧隊事務局を設置。出納取扱金融機関から臨時資金前渡用の小払現金を受領。定例の支払業務を通常通り実施。

**【3月15日】** 午前中に幸町庁舎の水道復旧。貯水タンクの水の残量は50t。復旧隊事務局に電話等の必要設備を設置し、資機材備品等を搬入。前進基地の設置施設や必要な資機材等について復旧隊の総務担当と協議。

**【3月16日】** 閉栓隊が使用する電話等の必要設備を技術センターに設置し、資機材備品等を搬入。閉栓隊バス駐車場として北側職員駐車場の一部を確保。仮設気化設備用の電源資材を確保。3月24日以降の修繕隊の宿泊先確保を試みたが、建物損壊とライフラインの供給停止等により、受け入れが困難な状況。弁当と飲料を変更し、19日以降の弁当と飲料を発注(4月17日まで発注継続)。

**【3月17日】** 仮設気化設備の電源工事を実施。閉栓隊バスの各作業エリアでの駐車場確保のため、事前の依頼を開始。以降、閉栓作業終了日前日まで1日最大6カ所の駐車場所の確保を継続実施。

**【3月19日】** 旅行代理店を通じ、修繕隊・開栓隊の宿泊先として3月23日以降は1,000名、3月25日以降は700名、4月1日以降は1,000名分を確保。数百台にのぼる駐車スペースの調整を併せて実施。その後も増員の都度、宿泊先を確保。弁当と飲料が同時に納入。以降、早朝と夕方に当番制で幸町庁舎で受け取り・仕分け。復旧隊の総務担当と、修繕隊前進基地の候補施設を絞り込み。必要な設備、工事等(プレハブ事務所、電気・電話設備、仮設トイレ等)を確認し、情報共有。

**【3月20日】** 復旧隊の飲料について、各宿泊先への配達手配が可能な飲料業者が見つかり、必要数の確保と納入を依頼。JGAと修繕隊・開栓隊の本部設置場所の検討と、幸町三丁目倉庫と技術センターの現場確認。作業に必要な備品等の種類と数量を確認。修繕隊前進基地の設置施設を概ね決定。前進基地は、重機を載せた大型特殊車両等が駐車するため、可能な限りアスファルト舗装の広い駐車場を有する施設を選別。

**【3月21日】** 前線基地としてグランディ21、シェルコム仙台、あすと長町、ガス局幸町三丁目倉庫を使用することを正式決定。修繕隊・開栓隊の本部は技術センターに置くことを決定。通信回線の開設や備品等について協議、設備工事等を断続的に実施。3月25日以降の宿泊先として県内のホテルを代理店を通さずに追加で250名分確保。

**【3月22日】** 修繕隊本部等の設営に必要な設備や資機材等についてJGAと協議。

**【3月23日】** あすと長町前進基地の出入口設置のため、歩道の切下げおよび敷鉄板を設置。修繕隊受け入れのため、幸町構内の職員車両を全て幸町三丁目駐車場へ移動。開栓隊バスの各作業エリアでの駐車場確保について協議。

**【3月24日】** 修繕隊の受け入れのため、幸町グラウンドに敷鉄板を設置。修繕隊本部内にインターネット等の通信回線の設置や資機材等の搬入を開始。幸町三丁目倉庫前進基地にファックス回線を増設および資機材備品等を搬入。あすと長町に仮設事務所用コンテナ、仮設トイレ等を設置。

**【3月25日】** 開栓隊バスの各作業エリアでの駐車場確保のため、事前の依頼を開始。以降、閉栓作業終了日前日まで、1日最大11カ所の駐車場の確保を継続実施。

**【3月26日】** 修繕隊の増員に伴い、泉総合運動場を駐車場として確保。車両台数の増に伴い、幸町グラウンドに駐車中の特殊車両を幸町三丁目倉庫やガス局構内に移動。

**【3月28日】** 不在再訪問専用受付電話の設置決定。港工場の執務環境整備について協議。

**【3月29日】** 軽油が逼迫。グランディ21、シェルコム仙台、あすと長町に軽油備蓄用ドラム缶を設置。あすと長町前進基地へインターネット等の通信回線を設置。不在再訪問専用受付電話の局内工事を完了。

**【3月30日】** 3月31日以降の宿泊施設を代理店を通さず、追加で150名分確保。4月1日以降の宿泊施設を代理店を通じ、追加で300名分確保。市内西方面の駐車場所として宮城大学太白キャンパスの駐車場を確保。

**【3月31日】** 復旧隊の大幅増員に備えたガス局周辺の駐車場確保のため、現場調査等を開始。

**【4月1日】** 不在再訪問専用受付電話の設置を完了。幸町西庁舎玄関に来庁者受付業務用の電話と端末を設置。開栓不在フォロー要員のためのレンタカーを確保。市内西方面の駐車場所として、仙台国際センター青葉山公園の駐車場を確保。

**【4月2日】** 復旧隊増員に伴い、幸町三丁目倉庫近辺に駐車場を確保。

**【4月3日】** 若林区七郷小学校で仮設シャワーを運用開始。開栓不在フォロー要員の車両増に伴い、宮城野図書館駐車場を借用。

**【4月4日】** 港工場2階の執務環境を整備。復旧隊事務室へのコピー機増設のため、電気工事を実施。

**【4月6日】** ゴミの排出量増加に対応するため、仮設ゴミ置場を構内に確保。

**【4月7日】** 深夜、余震(震度6弱)発生。建物設備や構内の火気、被災状況を確認。特に復旧隊の事務室はさまざまな物が散乱し、事務作業の続行が不可能。

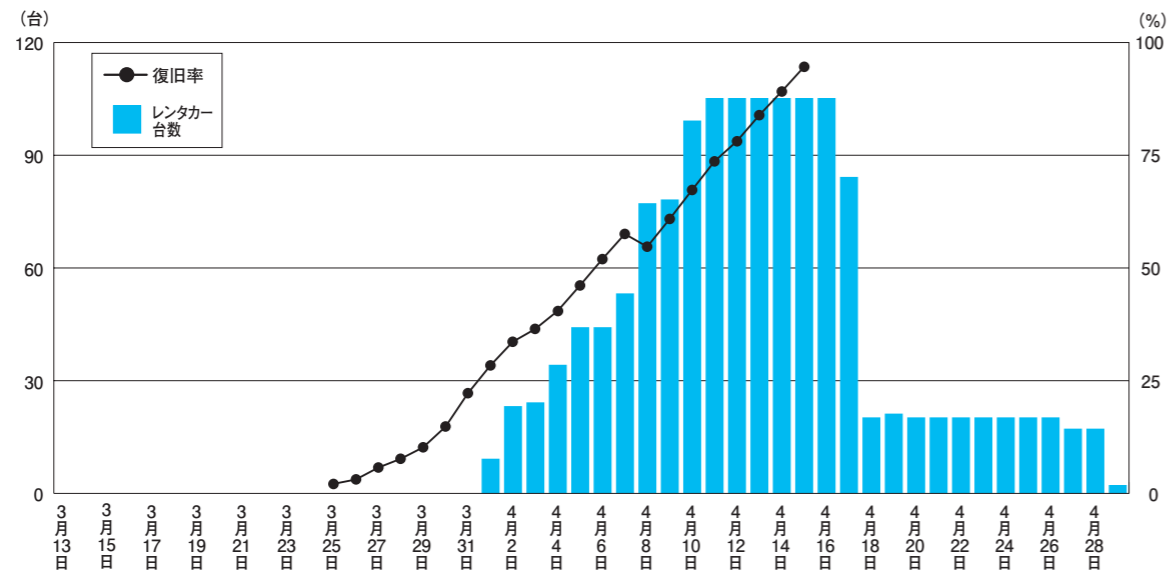
**【4月8日】** 早朝から、余震による被害箇所について、応急修理等による二次災害の防止措置。幸町東庁舎の冷温水発生機用煙突が、ねじ曲がり落下する恐れがあるため、撤去工事を手配。天井崩落の危険があるため、5階第一会議室の使用を禁止。宿泊先で手渡す翌日の弁当が停電で納品不可能となったため、宿泊先の食事や別の弁当業者で対応。

**【4月9日】** 幸町東庁舎の冷温水発生機用煙突の撤去工事を開始。

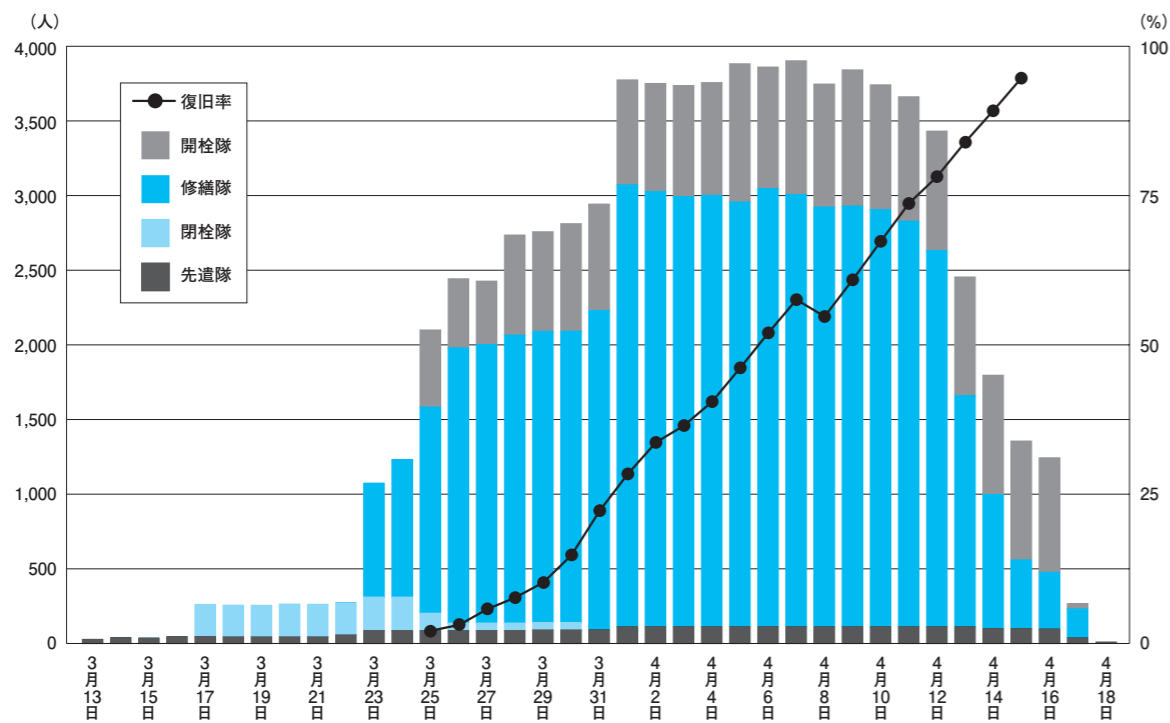
**【4月10日】** 5階第一会議室の落下の恐れがある天井等の撤去工事が終了。復旧隊解散に向けた作業項目の整理。

**【4月26日】** 幸町グラウンドと、あすと長町前進基地の敷鉄板の撤去が完了。

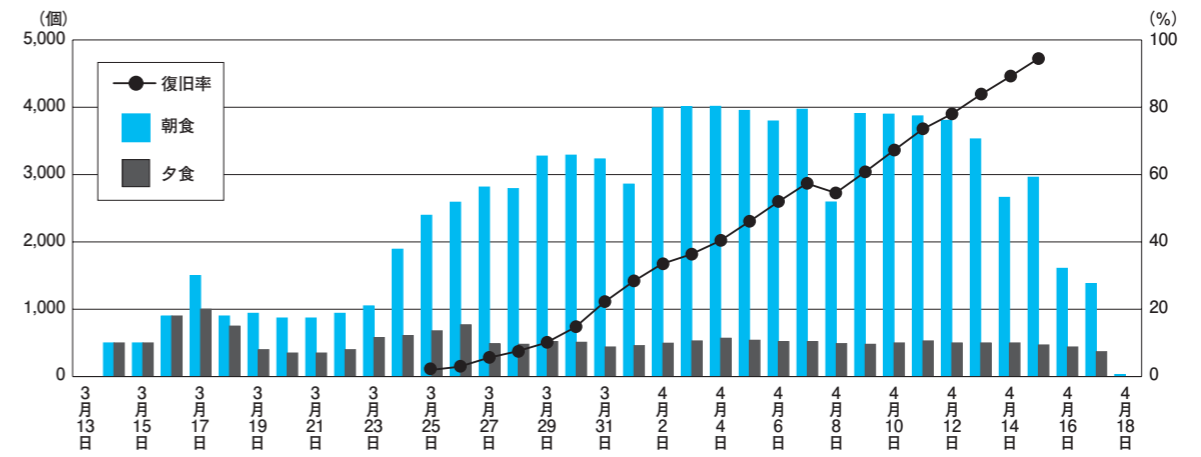
■災害復旧用レンタカー台数の推移



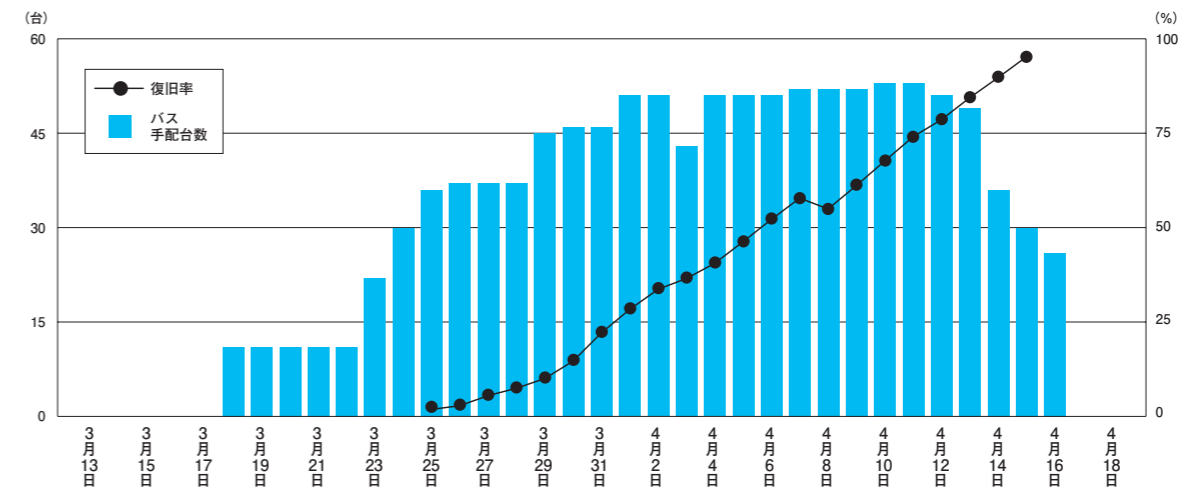
■宿泊手配数の推移



■弁当手配数の推移



■復旧隊移動用バスの手配台数



■導管資材の調達状況

管種	内管修繕					本管修繕				
	3月	4月	5月	6月	7月	3月	4月	5月	6月	7月
白鋼管 (m)	1,190.0	3,511.5	207.0	5.5	0.0	0.0	156.0	580.0	0.0	16.0
黒鋼管 (m)	0.0	170.5	0.0	0.0	-165.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
二層被覆鋼管 (m)	5.5	20.5	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	28.0	0.0	0.0
一層被覆鋼管 (m)	169.0	209.0	41.5	0.0	0.0	0.0	57.0	98.0	20.0	46.0
ポリエチレン直管 (m)	996.5	468.5	141.0	0.0	0.0	305.0	2,720.0	5,905.0	3,179.0	3,080.0
ポリエチレン直管 (本)	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	10.0	5.0	18.0	8.0	7.0
ポリエチレンコイル管 (m)	1.0	0.0	89.0	0.0	0.0	0.0	550.0	675.0	540.0	135.0
硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (m)	172.0	198.0	84.0	0.0	0.0	0.0	155.0	120.0	88.0	28.0
フレキシブル管 (巻)	44.0	202.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
圧力配管用鋼管 (黒肉厚管) (m)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0